

目標達成計画

【 目標達成計画 】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	毎月の通信に利用者様全体的な写真(誕生日の方は、別にA4判1枚に御本人だけの写真掲載。)は掲載していたが、今のコロナ禍で面会もままならないという状況での家族様の気持ちを考えると、もっと自分の親の状態を知りたいという思いがある。	誕生日だけでなく、個々にもっと写真の掲載を増やして、家族様に親御さんの元気であるという状態を、目でも確認出来安心して頂ける様にする。	各フロアの職員に日頃から、利用者様の写真を多めに撮影してもらって、通信作成者に毎月の写真を全体+個々の写真で作成してもらい、家族様に送付する。	来年から 今後も通年で
2	1・7	世間でも虐待についての報道が多々あるので、あってはいけない事と職員全体に理解してもらう。また、ホームの理念と虐待防止については、連動しているので一緒に職員の意識向上を図りたい。	ホームの理念については、分かっているかと思うがその意味内容を自分の意識の中に取り込んでもらえる様にする。また、その上で個々の理念も確立してもらえればと思う。その理念に則って、何が虐待になるか、虐待防止の為には自分はどうすれば良いのか、を考えていける様意識付けしたい。	今も毎月の会議で行っている身体拘束虐待防止委員会からの呼びかけ提案と、年2回の全体内部研修での勉強会を継続していく。現場において、個々の職員の利用者様への関わり方に自分だったらを考える一石を投じて、自分を振り返ってもらい、それを一つでも自分の理念に結び付けられる様にして欲しい。	個々の 年単位
3	33	入居されている利用者様が、年々高齢になってこられると同時に、重度化され終末期を迎えられるのは、人間の摂理として当然の事ながら、若い職員にとっては、不安な事がいっぱいあると思われる。	利用者様が必ず終末期を迎えるという事、それが不安、怖いものではなく、介護はその場面に携われる尊い職業であるという前向きな姿勢になれる様に、不安な事を一つ一つ取り除いてあげたい。	職員老いも若きも全体で、高齢者の方の身体の仕組み、衰えの進行等の身体的な部分での勉強も含めて、看取り内部研修を行っていく。また、日々の利用者様の状態についても現場で指導していく。	個々の 年単位
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。